

計画対象年度	平成26年度
--------	--------

事務事業評価シート

事務事業名	文化財保護事業（政策）						事業類型	その他		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	文化財保護法	
			10	04	03	03				
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象		
	第4節 地域文化の継承と創造						市民協働	行政主体		
	[1] 地域文化						担当課係等	郷土資料館		
事業期間	1 文化財などの継承と保護、活用							文化振興係		
	継続（年度～）									

現状把握の部（D0）

【目的】	市の財産である文化財の適正な保護、伝承に努めると共に、文化財を活用した事業を展開し、その価値、魅力を市民に理解してもらう。		【関連事業】	埋蔵文化財事業 郷土資料館管理運営事業 富士見塚古墳公園管理運営事業	
【期待される効果】	文化財を調査研究し、保存と伝承及び文化財を活用した事業を行うことにより、地域の歴史への理解を深め、郷土愛を育むことができる。		【対象者】	市民 市来訪者	
【全体概要】	文化財の保護・活用・伝承に関する各種補助事業及び委託事業や文化財の調査、研究、指定、公開に関する各種事業経費を計上		【特記事項】	木村家住宅の修繕については、県及び市補助金を活用し、27、28年度の2年間で実施。27年度に活動指標、指定文化財の活用を追加し、成果指標の内容を変更した。	
【平成25年度 事業内容】	権名家住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、民俗芸能伝承事業、指定文化財等の公開・管理事業、指定文化財説明板製作		【平成26年度 事業内容】	権名家住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、民俗芸能伝承事業、指定文化財等の公開・管理事業、指定文化財説明板製作	
			【平成27年度 事業内容】	権名家住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、民俗芸能伝承事業、指定文化財等の公開・管理事業、指定文化財指定事業、文化財保護審議会事業、文化財説明板・案内板修繕・製作等、木村家住宅修繕事業、指定文化財一斉公開日	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	1,052	1,178	4,045
歳入計（千円）		1,052	1,178	4,045
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	415	500	510
	09 旅費	0	0	19
	11 需用費	3	0	27
	13 委託料	381	418	474
	19 負担金、補助及び交付金	253	260	3,015
歳出計（千円）（A）		1,052	1,178	4,045
（参考）		当初予算額 0	当初予算額 1,225	伸び率(%) 決 243.3 予 230.2
職員人工数		0.20	0.20	0.20
職員人件費（B）		1,612	1,543	1,590
総事業費（A）＋（B）		2,664	2,721	5,635

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	市内文化財巡視活動	回	目標	12.00	12.00	0.00
	椎名家住宅、出島のシイ等市内の文化財の現況を掌握するため、巡視活動を実施する。		実績	12.00	12.00	0.00
		回	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	文化財保護事業に関する補助事業及び委託事業	件	目標	3.00	3.00	0.00
	国指定重要文化財椎名家住宅、県指定文化財出島のシイ、無形民俗文化財の補助をする。		実績	3.00	3.00	0.00
	文化財の公開に関する事業の実施	件	目標	3.00	3.00	0.00
	①公開謝礼の実施②指定文化財一斉公開日の実施③富士見塚古墳公園展示館への展示公開		実績	2.00	2.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画における、文化財などの継承と保護、活用を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域の財産である文化財を保護、継承するものであり、地域の先人たちやふるさとに対する誇りと愛情を構築するため必要である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域の人たちにとって、歴史への理解と愛着が持てる活動を推進することができる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地域の文化財が荒廃し、歴史遺産が分からなくなってしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 妥当性については、上記のとおりである。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 文化財の所有及び管理には、経済的な負担が発生するため、市からの補助や市民やボランティアの協力によって保護継承している。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 文化財の所有者は、市をはじめ個人や集落等が管理しているものであり、適正である。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	修繕が必要な市指定文化財があるが、修繕のための補助金を受けても自己負担金が大きく、保護が困難になってきているものがあり、維持していくことが難しい状態になっている。また、地域の宝である文化財を多くの市民に知っていただくため、文化財の一斉公開や史跡めぐり、ホームページでの情報発信を進めていきたい。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 指定文化財を保護、伝承するだけでなく、意識して活用・情報発信する事業に取り組み、文化財の理解者を増やすこと。そういう意味で、今年度から取り組む「指定文化財一斉公開」を成功させるよう努める。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 文化財への理解を深め、保護・保存の必要性を伝えることはとても重要です。今後も、継続した情報発信に努めてください。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度								
事務事業名	文化芸術振興事業（政策）						事業類型	負担金	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	かすみがうら市事業費助成型補助金等交付要綱
			10	04	03	07	政策経費		
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	第4節 地域文化の継承と創造						市民協働	市民主体	
	[1] 地域文化						担当課係等	郷土資料館	
事業期間	3 芸術・文化活動の推進							文化振興係	
	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部（D0）

【目的】 創作・発表意欲の向上、市民文化意識の高揚を図るため、文化・芸術団体及び愛好者育成及びその活動を支援する。	【関連事業】 文化財保護事業 郷土資料館管理運営事業
【期待される効果】 市民の自主的な文化活動を支援しながら、豊かで彩のある文化を創造することができる。	【対象者】 文化協会及び加盟団体 文化芸術愛好者 市民
【全体概要】 文化芸術団体を育成し、文化協会が実施する各種事業及び活動を支援するための経費を計上。また、文化団体及び文化芸術愛好者に情報を提供する。	【特記事項】 平成26年度主な支出：文化協会補助金1,177,000円 文化協会加盟団体数10部門47団体1066名 活動指標：市広報紙への掲載は文化協会だより発刊のため削除 成果指標：自主活動への移行により変更
【平成25年度 事業内容】 文化協会への補助金の交付と活動支援。文化団体及び文化芸術愛好者への展示、発表機会及び情報の提供。	【平成26年度 事業内容】 文化協会への補助金の交付と活動支援。文化団体及び文化芸術愛好者への展示、発表機会及び情報の提供。
【平成27年度 事業内容】 文化協会への補助金の交付と活動支援。文化団体及び文化芸術愛好者への展示、発表機会及び情報の提供。	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	1,326	1,177	155
歳入計（千円）		1,326	1,177	155
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	1,326	1,177	155
歳出計（千円）（A）		1,326	1,177	155
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -86.8 予 -89.3
職員人工数		0.30	0.30	0.30
職員人件費（B）		2,418	2,314	2,385
総事業費（A）＋（B）		3,744	3,491	2,540

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	各種会議の開催	回	目標	8.00	8.00	0.00
	文化協会、理事会など		実績	8.00	8.00	0.00
	市広報紙への記事掲載	回	目標	12.00	0.00	0.00
	活動記事、団体紹介記事		実績	10.00	0.00	0.00
成果 指標	かすみがうら祭への参加団体数	団体	目標	53.00	53.00	0.00
	文化協会加盟団体のみ		実績	18.00	18.00	0.00
	月例展示会への参加団体数	団体	目標	11.00	11.00	0.00
	文化協会加盟団体のみ		実績	11.00	11.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画における、芸術・文化活動の推進を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 多様な芸術・文化に親しめる環境をつくることや市民が自主的に活動や発表ができることは、市民の文化意識の高揚と文化活動の振興を図るものである。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 文化協会の自主的な活動が進む一方、高齢化による会員の減少があり、若い会員を増やす各種講座を開設し、サークル活動へ促す事業展開が必要である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 文化活動の縮小や会員の減少により、生きがいを失う市民が増加する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 生涯学習推進事業又は公民館活動事業との連携は可能と思われる。かすみがうら市を文化都市として位置づけるためにも、事業を推進する必要がある。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 関連事業との連携により、事業費の削減は可能と思われる。また、文化協会が任意団体として自主的に活動することができれば、職員の負担が少なくなる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 文化協会加盟団体への補助や情報提供を行っているものであり、適正である。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	生涯学習や公民館との連携を強化するため、文化協会の窓口を社会教育係に移し事業を展開する。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 文化協会の自主運営は進んでいるが、高齢化による会員数の減少が見受けられる。新会員募集のための各種支援や新しい同好会・サークルの設立を目指した講座 (公民館と連携) の開講などを進めていくこと。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) すべての市民が文化とふれ合う機会の創出に努めると共に、これまで同様、郷土史研究団体への支援をお願いします。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度								
事務事業名	帆引き船保存活用対策事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	かすみがうら市事業費助成型補助金等交付要綱
			10	04	03	09	政策経費		
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	第4節 地域文化の継承と創造						市民協働	行政の関与	
	[1] 地域文化						担当課係等	郷土資料館	
4 観光との連携								文化振興係	
事業期間	継続（年度～）								

現状把握の部（D0）

【目的】 本市の誇るべきシンボル「帆引き船及び帆引き網漁法」を後世に伝承していく。	【関連事業】 文化財保護事業 郷土資料館管理運営事業	
【期待される効果】 帆引き船や帆引き網漁法が漁師の高齢化により継続できなくなる恐れがある。保存会を支援することにより、後継者育成や県指定文化財を目指すことにより、帆引き船の認知度を高める効果がある。	【対象者】 霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会	
【全体概要】 帆引き船と帆引き網漁法の調査研究。霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の支援。帆引き船及び帆引き網漁法の保存、継承対策。	【特記事項】 27年度県補助金により、帆引き船展示施設（格納庫）を建設予定。成果指標：市指定文化財になったことにより、県、国指定文化財と段階的にランクを上げていく。	
【平成25年度 事業内容】	【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】
	指定文化財事例調査、帆引き船保存会の支援	県指定文化財への指定を目指した帆引き船及び帆引き網漁法の調査研究及び各種調整。霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の活動（帆引き網漁法操業技術継承者育成、帆引き船の普及啓発活動など）支援。帆引き船保存展示施設整備。

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	6,998
	自主財源	0	1,361	7,788
	歳入計（千円）	0	1,361	14,786
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	09 旅費	0	22	115
	11 需用費	0	0	516
	13 委託料	0	572	497
	15 工事請負費	0	0	12,078
	19 負担金、補助及び交付金	0	767	1,580
歳出計（千円）（A）	0	1,361	14,786	
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	1,354
職員人工数	0.00	0.20	伸び率(%)	決 986.4 予 992.0
職員人件費（B）	0	1,543		2,385
総事業費（A）＋（B）	0	2,904		17,171

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	保存会の育成	団体	目標	0.00	1.00	0.00
	霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の育成		実績	0.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	文化財の指定	件	目標	0.00	1.00	0.00
	帆引き船・帆引き網漁法の市の無形民俗文化財としての指定		実績	0.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画における、観光との連携を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 かすみがうら市のシンボルでもある帆引き船を継続的に維持していくためには、帆引き網漁法の文化的価値と後継者不足が問題であり、それを解決するための事業である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上まらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 保存会の支援だけでなく、世界遺産を目指すために帆引き船の歴史的価値を調査研究する必要がある。また、資料の保存継承をする必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 かすみがうら市の観光帆引き船事業が継続できなくなり、帆引き船発祥の地としての価値が失われてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 観光事業として実施することは可能であるが、県指定文化財を目指しているため、実施している。妥当性については、上記のとおりである。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 後継者問題は、漁師の高齢化により今取り組まなければ技術の伝承ができなくなる。保存会の自主的活動により、職員の負担を少なくする必要がある。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 保存会は、帆引き船を市のシンボルとして残したいという思いの人たちであり、支援することは適正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	帆引き網漁法を市指定文化財として認定したが、今後、県指定文化財、国指定文化財を目指すため、歴史的価値を調査研究する必要がある。また、帆引き船を適切に保管・公開するため、展示施設の整備を行う。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の活動支援と帆引き船保存展示施設の建設が円滑に進むよう努めること。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の活動支援に向けて、観光商工課との連携が密となるよう努めてください。		

計画対象年度	平成26年度
--------	--------

事務事業評価シート

事務事業名	郷土資料館管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	社会教育法	
			10	04	05	03				
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象		
	第4節 地域文化の継承と創造						市民協働	市民の関与		
	[1] 地域文化						担当課係等	郷土資料館		
2 ふるさと教育の推進						資料係				
事業期間	継続（ 年度～ ）									

現状把握の部（D0）

【目的】	市の歴史、文化に関わる事柄の調査研究や各種史料の収集、保存、整理、調査研究などを推進すると共に、それらを展示や講演会、講座等という形で情報発信することで、市民には郷土に誇りと愛着を持つ心を、市外の方には本市に興味と関心を持つ心を育てる。	【関連事業】	文化財保護事業 埋蔵文化財事業 富士見塚古墳公園管理運営事業 帆引き船保存活用対策事業
【期待される効果】		【対象者】	市民及び来館者全般
【全体概要】	市の歴史、文化に関する資料等の収集、整理保存、調査研究及びその公開並びに郷土資料館の管理運営。	【特記事項】	活動指標：集客のための企画数に変更した。
【平成25年度 事業内容】	特別展、企画展の開催及びそれに付随する催しの開催や書籍の刊行。歴史、文化に関する講座や体験教室など、ふるさと教育の推進。資料の整理、受付け業務などを担う臨時職員の雇用。	【平成26年度 事業内容】	特別展、企画展の開催及びそれに付随する催しの開催や書籍の刊行。歴史、文化に関する講座や体験教室など、ふるさと教育の推進。資料の整理、受付け業務などを担う臨時職員の雇用。
【平成27年度 事業内容】	特別展、企画展の開催及びそれに付随する催しの開催や書籍の刊行。歴史、文化に関する講座や体験教室など、ふるさと教育の推進。資料の整理、受付け業務などを担う臨時職員の雇用。郷土資料館の修繕。		

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	2,035	3,720	4,688					
	歳入計（千円）	2,035	3,720	4,688					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	07 賃金	767	1,721	1,607					
	08 報償費	169	207	358					
	09 旅費	50	78	179					
	11 需用費	909	1,353	1,788					
	12 役務費	140	361	399					
	13 委託料	0	0	357					
歳出計（千円）（A）	2,035	3,720	4,688						
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	3,161	伸び率(%)	決	26.02	予	48.30
職員人工数	0.60	0.60	0.60						
職員人件費（B）	4,836	4,628	4,770						
総事業費（A）＋（B）	6,871	8,348	9,458						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	講座参加者の増 参加者の増加を見込める講座を企画する。	人	目標	130.00	500.00	0.00
			実績	1,048.00	1,264.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	郷土資料館の年間来館者数の増加 企画展、特別展等で増加が見込める企画プランを考える。	人	目標	12,000.00	11,000.00	0.00
			実績	10,688.00	12,461.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画における、ふるさと教育の推進を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 郷土の歴史、民俗等に関し市民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与すると共に、かすみがうら市の魅力を県内外に発信している。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 空き公共施設の中から文化財の収蔵庫を確保することにより、より多くの展示品を収集することができ、将来にわたり保存継承することができる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 郷土の歴史遺産が散逸し、郷土への愛着が薄れてしまう。また、子供たちのふるさと教育の場が無くなってしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 郷土資料館にかすみがうら市の歴史や文化の資料を集めることにより、情報の集約が図れる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 事業費としては、築28年の郷土資料館の維持管理費の増加が見込まれる。人件費は、市民学芸員の協力のもと各種講座を実施しているが、資料整理のための臨時職員の確保が必要となる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 資料館の入館者や講座の受講者が対象となるが、入館料や受講料を支払っており適正である。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	郷土資料館は、企画展や特別展を通して全国にかすみがうら市の魅力を発信し続けている。郷土の歴史や文化資料を収集し保存継承していくためには、収蔵庫の確保が必要であり、学校統廃合に合わせ確保していきたい。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 特別展やそれに付随する催し、各種講座の開講、市民学芸員の活動など、郷土資料館で実施する「ふるさと教育」は確実に浸透してきているので、継続して実施していくと同時に、新しいファン層の開拓に努めること。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 定着しつつある市民学芸員制度を、さらに充実させるよう努めてください。		